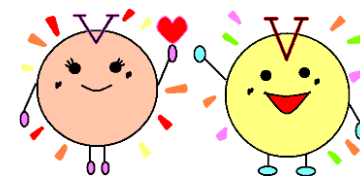


いなべ市ボランティアセンターだより

Vol.29



講座

令和6年度の事業報告

災害ボランティアコーディネーター養成講座

●開催時期:令和6年9月

全国各地で災害ボランティアセンターの設置運営支援に携わっている李氏(にいがた災害ボランティアネットワーク)から、経験を活かした支援の3原則や、受援力の大切さを学ぶことができました。また、能登半島地震の影響を受け、自分たちでもできることをしたいと若い世代の参加者もみられ、幅広い世代に活動を知ってもらう機会となりました。



講演会

いなべふくし塾～共に生き、共に育む～

●開催時期:令和7年3月

長井氏(HUGKUMI)、神徳氏(珠洲市社会福祉協議会)お招きして、“被災地における地域福祉活動”“能登半島地震における珠洲市の地域福祉活動”“いなべ市のふくし”をテーマにお話いただき、明日からの行動・繋がりを考える機会となりました。



支援活動

石川県内灘町 被災地支援活動

●開催時期:令和6年12月

石川県内灘町へ災害ボランティアコーディネーターとともに、ボランティアへの炊き出し支援を行いました。また、災害ボランティアセンターの活動を見学、説明を受けることで、今後いなべ市で起きた場合を想定し、災害ボランティアセンターの役割を学ぶ機会となりました。



催し

食品配布(フードパントリー)に向けた取り組み

●開催時期:令和6年度 偶数月 計6回

みんな食堂を実施する団体やボランティア等と協働して行いました。『食べられるのに捨てられる食品を減らそう』、『食品を必要とされる方にお渡ししたい』という思いで活動しています。実施にあたっては、市内外の方々や企業よりたくさんのご寄付をいただきました。ありがとうございました。随時、食品配布や地域食堂の情報を発信しています。詳しくは『食に関する公式LINE』をご確認ください。



食に関する公式 LINE

随時、ボランティア相談を受け付けております。「これから始めてみよう!」、「活動の幅を広げてみよう!」等と思われる方はご連絡ください。活動情報や助成金等の情報を適時収集しておりますので、ご希望に合わせてご紹介できればと思います。

※裏面もあります!ご覧ください。



定例会

いなべ市ボランティア連絡協議会

●開催時期: 毎月1回(第4火曜日)

ボランティア相互の連携・連絡、交流や活動の輪を広げていくため、毎月集まりを開催しています。

他市町のボランティア活動者と意見や情報交換する機会を設けたり、清掃活動等を通じて、ボランティア活動の一步として、地域の方々と取り組みました。



定例会

災害ボランティアコーディネーター定例会

●開催時期: 奇数月(年6回)

平時より災害に備えた情報の共有や交換を定期的に行いました。

臨機応変に対応できるよう、災害ボランティアセンターで活動する内容の模擬訓練等を行い、有事に備えています。



★災害ボランティアセンターとは…

市内で大規模災害が発生した場合に立ち上げられます。災害現場で活動される災害ボランティアを迎え入れ、被災された方との橋渡しをお手伝いします。

～数字から見る活動～

ボランティア登録数 団体…108団体(2,241名)、個人…8名 合計2,249名
<主な活動分野> 児童12団体、高齢21団体、障がい8団体、地域づくり67団体
(令和7年3月31日現在)

令和7年度の行事予定

・定例会は予定通り、開催しております。

<予定>

8月: 食に関する取り組み(フードパントリー) ※偶数月に実施
※食品のご寄付や食品等の仕分けボランティアも随時募集しております。

10月: 傾聴講演会

1月: 災害に関する講演会

<時期検討中>

ボランティア活動者交流会、いなべふくし塾等

適宜、社協だより/ホームページ等で詳細のご案内をいたしますので、ご確認の上、ぜひご参加ください!!

ボランティア活動紹介

最後に…

〇ボランティアは…『あなたのできることを、身近なところ』で活かし、ちょっとした行動が、人を支え、住みよいまちづくりにつながります!! 『こんなボランティアしてみたいな』等ありましたら気軽に地域福祉課へご相談ください。また、随時公式LINEにて、ボランティア情報の発信も行いますので、ご活用ください。



いなべ市ボランティアセンターの
ボランティア募集や情報を発信!



編集・発行【いなべ市ボランティアセンター・ボランティア連絡協議会事務局】

〒511-0428 いなべ市北勢町阿下喜 2624-2(オレンジ工房あげき 2階)

いなべ市社会福祉協議会 地域福祉課

電話: 0594-41-2945 メール: chiiki@inabewel.or.jp